

□ 会期中講座・ワークショップ ※事前予約制(電話またはホームページ)



ナイト・ジェル・キャンドルを作ろう
7月29日(日) 13:30~15:00
会場:美術館別館 アートテラス
講師:山口由理 氏(na-turi)
定員20名、参加費500円
※小学生以下は保護者同伴



スペインの文化を体験!
モザイクタイルでコースターづくり
8月18日(土)・19日(日) 13:30~15:00
会場:美術館別館 アートテラス
講師:当館学芸員
定員各回20名、参加無料、要観覧券
※小学生以下は保護者同伴



学芸員体験講座
9月1日(土) 14:00~16:00
会場:展示室内
講師:当館学芸員
定員10名、参加無料、要観覧券
※高校生以上



紅茶教室~おいしい紅茶の淹れ方~
10月14日(日) 14:00~15:00
会場:美術館別館 アートテラス
講師:田牧貴仁 氏(紅茶専門店アールグレイ)
定員15名、参加無料
※中学生以上

□ 広報用画像のご提供

画像はデータで無料でご提供いたします。ご希望の際は下記の事項をご記入の上、メールにて当館までご連絡下さい。折り返しご連絡致します。お手数おかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

(1) 使用希望作品番号 (2) 会社名 (3) 担当者名 (4) 連絡先電話番号 (5) 掲載媒体名・番組名 (6) 発行日・放送日 (7) 発行部数

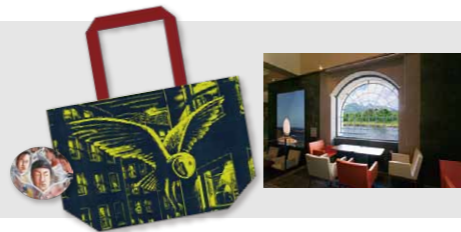
<p>NO.1</p> <p>パメラ・ジューン・クルック 《ふくろう》2016年 公益財団法人諸橋近代美術館蔵 ©PJ Crook 2016</p>	<p>NO.2</p> <p>パメラ・ジューン・クルック 《きつね》2015年 公益財団法人諸橋近代美術館蔵 ©PJ Crook 2016</p>	<p>NO.3</p> <p>パメラ・ジューン・クルック 《あなぐま》2013年 公益財団法人諸橋近代美術館蔵 ©PJ Crook 2016</p>	<p>NO.4</p> <p>パメラ・ジューン・クルック 《野うさぎ》2015年 公益財団法人諸橋近代美術館蔵 ©PJ Crook 2016</p>
<p>NO.5</p> <p>パメラ・ジューン・クルック 《紙帽子》1995年 公益財団法人諸橋近代美術館蔵 ©PJ Crook 2016</p>	<p>NO.6</p> <p>パメラ・ジューン・クルック 《グリーンドア》《レッドドア》1995年 公益財団法人諸橋近代美術館蔵 ©PJ Crook 2016</p>	<p>NO.7</p> <p>パメラ・ジューン・クルック 《ジャポニカ》2001年(add.2003年) 公益財団法人諸橋近代美術館蔵 ©PJ Crook 2016</p>	<p>NO.8</p> <p>パメラ・ジューン・クルック 《現在-過去》2001年 公益財団法人諸橋近代美術館蔵 ©PJ Crook 2016</p>

□ 読者・視聴者プレゼント用招待券のご提供

本展覧会の招待券(5組10名様)をご提供します。ご希望の方はメールにて当館までご連絡下さい。

オリジナルグッズやオリジナルメニュー登場

ミュージアムショップでは、サルバドール・ダリを所蔵する当館ならではのダリをモチーフにしたTシャツ、展覧会オリジナルグッズを販売。また、ミュージアムカフェでは展覧会オリジナルメニューをご提供する予定です。



取材や記事掲載にご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ:公益財団法人諸橋近代美術館 担当/久納(くのう)
e-mail: s-kunou@dali.jp tel:0241-37-1088 fax:0241-32-3332
〒969-2701 福島県北塩原村大字松原字剣ヶ峯1093番23
公式ホームページ http://dali.jp



新収蔵動物シリーズ4作品を含む所蔵作品全31点を一堂に公開!

Dear パメラ・ジューン・クルック展 Ms. Crook

2018 7.8日 → 10.21日

パメラ・ジューン・クルック(1945~)は、英国の現代アーティストです。諸橋近代美術館の創設者でありコレクターの諸橋廷蔵(1934~2003)は1995年にパリのギャラリーで催されていたクルックの個展に偶然立ち寄り、その場で展示作品を全て一括購入しました。これらのクルックの作品は、諸橋近代美術館の創設時にサルバドール・ダリをはじめとした素晴らしい近代絵画とともに当美術館に寄贈されました。

2016年の回顧展を契機に新たに4点の版画作品がクルックより寄贈され、また回顧展で好評を博した最新作を含む4点の絵画を諸橋近代美術館が購入することとなり、計8点のクルックの作品が新たに当美術館のコレクションに加わりました。

本展覧会では2016年開催の企画展「ハロ一、クルック~共感する記憶~」開催を契機にクルック・コレクションの一層の充実が図られたことを記念し、当館におけるコレクション形成史の新たな章として、当美術館所蔵のクルック作品全31点を一堂にご紹介します。



■ パメラ・ジューン・クルック(1945~)
英国の現代アーティスト。グロースターシャーカレッジに進学し、織物と染色を専攻。卒業後は、ロンドンでテキスタイル・デザイナーとして活躍。27歳のとき、子育て中の余暇に絵を描き始めたことがきっかけで絵画制作に目覚め、以来、現在に至るまで精力的に絵画を中心とした制作活動を続けています。変形キャンバスを効果的に活用し、額縁にまで画面を拡張させて描く独創的な手法が特徴です。

展覧会	「Dear Ms.Crook~パメラ・ジューン・クルック展~」 新収蔵・4点動物シリーズ公開
主催	公益財団法人 諸橋近代美術館
後援	ブリティッシュ・カウンシル、福島県、福島県教育委員会、北塩原村、北塩原村教育委員会、裏磐梯観光協会、福島民報社、福島民友新聞社、河北新報社(順不同)
会期	2018年7月8日(日) - 10月21日(日) 会期中無休
会場	諸橋近代美術館 福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峯1093番23
時間	午前9時30分~午後5時30分 ※入館は閉館30分前まで
観覧料	一般950円、高校・大学生500円 中学生以下無料
備考	20名以上の団体料金は各50円引き ※教育施設対象の観覧料免除制度あり。(要事前申し込み) ※身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳所有者と付添い者1名は無料

Dear Ms. Crook

テーマ1：1995

1995年、諸橋近代美術館の創設者でコレクターの諸橋廷蔵(1932年～2003年)がクルック作品を購入した経緯はまさに奇跡的な偶然でした。1995年、美術館創設のためにダリをはじめとした作品を購入すべくパリに赴いていた諸橋は、一軒のギャラリーに立ち寄ります。そのギャラリーで開かれていた個展がクルックの展覧会でした。諸橋は展示を見終わると、展示されていた全ての作品をその場で購入しました。この出会いこそが、クルックと諸橋近代美術館の友好の始まりでした。

クルックにとってもこの時期は大きなターニングポイントとなりました。パリの個展での成功の翌年、1996年にはイギリスの伝説的プログレッシブ・ロック・バンド「キング・クリムゾン」のリーダー、ロバート・フリップと知り合い、以降、度々バンドのCDジャケットを手がけるようになります。彼女の作品は次第に世界中の人々の目にとまるようになりました。



パメラ・ジュン・クルック
左《グリーンドア》 右《レッドドア》1995年
油彩・カンヴァス
公益財団法人諸橋近代美術館蔵
©PJ Crook 2018

1995年、パリのアラン・ブロンデルギャラリーの展覧会のころは、私の生活は楽とはいえなかった。展覧会のオープニングの夜には地下鉄のストライキや爆破騒動があり、作品の売れ行きにはあまり期待できなかった。それでも2作品は売れたが、人通りも少なく、これ以上何もないと思っていた。そんな中、私のパートナーであるリチャードが2人の日本人男性が興味深げにウィンドウの中を覗いているのを見かけたことが映画のような出来事のはじまりだった。彼らはギャラリーに入るなり展示を見はじめた。グロスターシャーのアトリエで仕事していた私はリチャードから感動的な電話をもらった。リチャードは、「2人の日本人紳士が絵を買ってくれたが、どの作品だと思う？」と尋ねた。疑いながら作品のタイトルを聞いていくうちに、展示作品の全てを購入してくれたことがわかった。このことはパリとロンドンのギャラリー中に広まった。 - PJ Crook

テーマ2：2001

諸橋近代美術館が開館してから3年後の2001年、ついに国内で初となるクルックの回顧展を開く機会に恵まれます。この年、クルックとの友好が結実しクルックの初の来日を実現します。当美術館での講演を終え、日本観光を楽しんだクルックは、以降の作品の中で日本を題材にした作品を描くようになります。この時がクルックと諸橋廷蔵の最後の面会となりました。2003年、諸橋廷蔵が急逝したことを知ったクルックから1枚の絵が寄贈されました。

諸橋廷蔵氏の人生と業績を称え、彼への追悼として(この作品を)贈る。 - PJ Crook



パメラ・ジュン・クルック
《ジャポニカ》2001年 (add.2003年)
アクリル・カンヴァス・木製フレーム
公益財団法人諸橋近代美術館蔵
©P.J.Crook 2018

テーマ3：2016

2016年、諸橋近代美術館では4回目となるクルックの回顧展「ハロー、クルック～共感する記憶」を開催しました。この回顧展にあわせクルックから4枚の版画が寄贈され、この回顧展にあわせ製作された新作《ふくろう》を含む4点が翌年に新規収蔵されました。

ここ数年、クルックの制作活動はもっぱら深夜に行われており、それを反映するように夜を舞台にした作品が描かれています。クルックは複数の慈善事業団体に所属しており、現在も日中は慈善事業に従事し夜に作品を制作するという多忙な日々を過ごしています。

故・諸橋廷蔵との出会いから始まったクルックと諸橋近代美術館との友好は今も昔も、そしてこの先の未来も変わることなく続いていきます。



パメラ・ジュン・クルック
《ふくろう》2016年
色材を混ぜたジェッソ・カンヴァス・木製フレーム
公益財団法人諸橋近代美術館蔵
©PJ Crook 2018

美術館無料デー 今年はいギリスパーティー ～ クルックを囲んで、さぁ踊ろう ～

2018年9月16日(日)9:30～17:00(仮)



場所: 諸橋近代美術館(屋外庭園を含む)

今年はいギリスにちなんだイベントを開催!アーティストのパメラ・ジュン・クルックを迎えて作品世界をたっぷり解説いただきます。また、珍しいきのこ舞踊団のダンスもお楽しみに。

※日程や内容が変更になる場合がございます。



パメラ・ジュン・クルック



珍しいきのこ舞踊団

展覧会の担当学芸員がクルックの魅力に迫る!

2018年7月21日(土)14:00～14:45

場所: 諸橋近代美術館 別館アートテラス

定員: 40名 ※要観覧券<申込不要>

担当学芸員による展覧会講座。クルック所蔵に至る秘話や作品に隠されたメッセージを担当学芸員が詳しく解説します。



パメラ・ジュン・クルック 《きつね》2015年
公益財団法人諸橋近代美術館蔵 ©PJ Crook 2018